

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2003-330781(P2003-330781A)

【公開日】平成15年11月21日(2003.11.21)

【出願番号】特願2002-142866(P2002-142866)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 12/00

G 06 F 3/06

【F I】

G 06 F 12/00 5 3 1 D

G 06 F 12/00 5 1 0 B

G 06 F 3/06 3 0 4 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月6日(2005.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上位装置からのデータを一次記憶装置で記憶し、該一次記憶装置が該一次記憶装置に記憶されているデータを二次記憶装置にコピーし、該二次記憶装置が該二次記憶装置に記憶されているデータを三次記憶装置にコピーするようにしたデータ多重保障方法。

【請求項2】

請求項1記載のデータ多重保障方法において、上記上位装置からのデータの上記一次記憶装置への記憶と、該一次記憶装置から上記二次記憶装置へのデータのコピーと、該二次記憶装置から上記三次記憶装置へのデータのコピーとは互いに非同期に行われるデータ多重保障方法。

【請求項3】

請求項1または2に記載のデータ多重保障方法において、上記二次記憶装置、上記三次記憶装置それぞれへのデータのコピーに際しては、上記一次記憶装置、上記二次記憶装置それぞれでは差分データの更新順序管理情報が作成された上、上記二次記憶装置、上記三次記憶装置それぞれに転送されるデータ多重保障方法。

【請求項4】

請求項1～3の何れか1項に記載のデータ多重保障方法において、上記上位装置、または上記一次記憶装置に障害が発生した場合、上記二次記憶装置を新規な一次記憶装置として、該新規な一次記憶装置から上記三次記憶装置へのデータのコピーが行われるデータ多重保障方法。

【請求項5】

請求項1～3の何れか1項に記載のデータ多重保障方法において、上記二次記憶装置に障害が発生した場合、上記一次記憶装置に保存されている差分データ管理情報に基づき、該一次記憶装置から上記三次記憶装置への差分データのコピーが行われるデータ多重保障方法。